

【FdData 中間期末：中学歴史】

【イギリスの革命】

【問題】(1 学期中間)

次の文章の①～③に適切な語句を入れよ。

16 世紀のイギリスでは軍隊を背景に国王の権力が強くなった。国王による中央集権的な政治を(①)王政と呼ぶ。17 世紀に入って議会や市民が力をつけ、王と対立するようになり、1642 年に(②)革命がおき、さらに 1688 年の(③)革命により議会政治の基礎がつけられた。

【解答】① 絶対 ② ピューリタン ③ 名誉

【解説】

【イギリス】

絶対王政 → 市民革命

1642年 ピューリタン革命 (クロムウェル)

1688年 名誉革命 → 権利章典

16 世紀のイギリスでは軍隊を背景に国王の権力が強くなった。国王による中央集権的な政治を絶対王政ぜったいおうせいと呼ぶ。国王は国民に重い税金をかけたり、しんこう信仰の自由を認めなかったりしたため、議会

と対立し、1642年にピューリタン革命^{かくめい}が起こった。
1649年に国王が処刑^{しよけい}され共和制^{きやうわせい}がひかれた。しかし、
政権をにぎったクロムウェル^{どくさい}の独裁政治は
人々の不満をまねき、その死後、王政が復活した。
1688年に名誉革命^{めいよかくめい}が起こり、国王を追放した議会は
新しい国王をオランダから迎えて国民の権利と
自由を守ることを約束させた。(名誉革命一路はや
(1688))「国王は議会の承認なしに法律を停止する
ことはできない。議会における言論の自由は守ら
れねばならない。・・・」はこのときに出された権利
章典^{しやうてん}である。こうして議会政治の基礎ができあが
り、「国王は君臨^{くんりん}すれども統治^{とうち}せず」という立憲君
主制^{しゆせい}が確立した。

[問題](後期中間)

次の年表について、各問いに答えよ。

1642年	イギリスでピューリタン革命がおこる……A
1688年	イギリスで()がおこる……B

- (1) 年表中の A 以前のイギリスで、国王が大きな力をもち行っていた政治を何というか。
- (2) 年表の()にあてはまる語句を書け。
- (3) 年表中 B の翌年に出された次の資料を何というか。

- 1 国王は議会の承認なしに法律を停止することはできない。
- 2 議会における言論の()は守られなければならない。

- (4) (3)の資料の()にあてはまる語句を書け。

[解答](1) 絶対王政 (2) 名誉革命 (3) 権利章典
(4) 自由

[問題](2 学期期末)

次の①～⑧にあてはまる語句を下の[]からそれぞれ選べ。

イギリスでは 16 世紀に、国王が貴族をおさえて、(①)と呼ばれる強力な政治の仕組みを作った。国王は国民に重い(②)をかけたり、信仰の自由を認めなかったりしたため、(③)と対立した。国王と(③)の対立は続き、(③)で力を持つ(④)が(⑤)を指揮して、国王軍を破り、国王を処刑して、(⑥)を打ち立てた。これが(⑤)革命である。しかし、(④)が独裁を行い、(④)の死後王政が復活した。1688, 89 年には無血の(⑦)革命によって、議会を尊重する国王を立てて(⑧)を制定した。

[ピューリタン 議会 名誉 絶対王政
権利章典 共和制 税金 クロムウェル]

[解答]① 絶対王制 ② 税金 ③ 議会
④ クロムウェル ⑤ ピューリタン ⑥ 共和制
⑦ 名誉 ⑧ 権利章典

[問題](後期中間)

次の各問いに答えよ。

- (1) 1600年代の前半、イギリスやフランスは国王の権力がとても強く、国王は自分で法律を作ったり、判決を下したりすることができた。このような政治の仕組みを何というか。
- (2) 1215年のマグナカルタや1689年の権利章典は、いずれもイギリスで「憲法」と位置づけられているものである、誰の権限を制限しようとしたか。
- (3) イギリスは名誉革命などを経て、議会政治の基礎を作り、国王を中心としながらも「国王は君臨すれども統治せず」とした政治の仕組みをつくりあげた。これを何というか。

[解答](1) 絶対王制 (2) 国王 (3) 立憲君主制

【問題】(前期中間)

次の文を読んで、後の各問いに答えよ。

17世紀のヨーロッパでは、大国の地位がスペインからオランダ、さらにフランスや(A)へ移った。市民の間には、自由で批判的な思想が唱えられ、自由で豊かな生活が広まった。

(1) A にあてはまる国名として適切なものを、次の[]から選べ。

[イタリア ドイツ イギリス アメリカ
日本]

(2) 17世紀の文中(A)の国では、国王が追放されて新しい国王がむかえられた。その理由として、適切なものをア～エから1つ選び、記号で答えよ。

ア 国民の意思に反した。

イ 前国王と対立した。

ウ 教会の意思に反した。

エ フランスとの戦争に敗れた。

【解答】(1) イギリス (2) ア

【解説】

17世紀のヨーロッパの商業や文化の中心はオランダであったが、17、18世紀には、オランダに対抗して、フランス、イギリスが積極的に産業を育成し軍備を整え、東インド会社を先頭に海外に進出した。

[問題](1 学期期末)

次の文の①～③に適語を入れよ。

17, 18 世紀のヨーロッパではオランダにかわって、(①)や(②)が台頭し、積極的に産業を育成して、海外に進出した。(①)では、国民の意思に反した国王を追放し、新たに王を立てて立憲君主制にして、(③)中心の政治が行われた。

[解答]① イギリス ② フランス ③ 議会

◆社会歴史の各ファイルへのリンク

<http://www.fdtype.com/dp/sr4/index.html>

◆FdData 中間期末の特徴(QandA 方式)

http://www.fdtype.com/dp/qanda_k.html

◆製品版(パソコン Word 文書：印刷・編集用)
の価格・購入方法

<http://www.fdtype.com/dp/seihin.html>

※ iPhone でリンク先が開かない場合は、
「iBooks」を開いてリンクをタップください。

【Fd 教材開発】 Mail : info2@fdtype.com